

（西暦） 2025年 12月 16日

## 抗菌薬治療のため当院に入院されていた患者さんの 診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

### はじめに

#### 【研究の意義、目的を記載】

2018年度より抗菌薬適正使用支援チーム(AST)を組織し、当院における届出対象抗菌薬の使用患者を中心に、週1回の介入を行なっている。今回、AST活動の評価を目的として、届出対象抗菌薬の適正使用及び薬剤耐性菌の抑制に与える影響について検討した。

### 対象

西暦2016年4月1日より2026年3月31日までの間に、入院にて抗菌薬治療を受けた方

#### 【試料・診療情報等の項目】

試料：

診療情報等：抗菌薬使用量(AUD、DOT) 緑膿菌に対する抗菌薬感受性率、入院患者における院内監視菌(MRSA、ESBL産生菌、CRE、CPE、MDRP、2剤耐性緑膿菌)新規検出数、在院日数合計、ASTフィードバック件数、血液培養2セット採取率、特定抗菌薬使用患者のde-escalation率

#### 【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される試料・診療情報等は他機関への提供は行いません。(浜の町病院のみで使用の場合)

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、谷川 昇までご連絡をお願いします。

### 研究課題名

AST活動が届出対象抗菌薬適正使用及び薬剤耐性菌抑制に与える影響

### 研究内容

#### 【方法を記載】

2016年度～2025年度の届出対象抗菌薬の使用量(AUD、DOT)と、届出対象抗菌薬使用患者の開始前血液培養2セット採取率、届出対象抗菌薬使用患者のde-escalation率、緑膿菌に対する抗菌薬感受性率、入院患者における院内監視菌(MRSA、ESBL産生菌、CRE、CPE、MDRP、2剤耐性緑膿菌)新規検出率の相関関係を評価した。

### 個人情報の管理について

- 1) 個人情報なし

### 研究期間

西暦2016年4月1日～2026年3月31日（予定）

### 医学上の貢献

例：本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しか

参考書式1 情報公開文書（浜の町）

し、本研究により抗菌薬適正使用支援チームの活動と届出対象抗菌薬の使用量、耐性菌の新規検出率の相関が明らかになる事により、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されると考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 薬剤部

（他に共同研究機関があれば記載のこと）

【当院での研究責任者】 所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 谷川 昇

【利用する者の範囲】

所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 山口 綾水

所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 坂本 英之

所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 野中 敏治

所属 薬剤部 職名 部長 氏名 吉田 実

所属 総合内科・感染症内科 職名 部長 氏名 隅田 幸佑

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

【対応者の氏名・所属・連絡先（ダイヤルイン電話番号、FAX、E-メールアドレス等）、および対応する時間帯（制限がある場合）を記載のこと】

薬剤部 谷川 昇 連絡先：092-721-9918

以上